平成22年10月8日

各 位

上場会社名　スターティア株式会社
代表者　代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷秀之
（コード番号　3393）
問合せ先責任者　執行役員 経営企画室長 兼 財務経理部長 後久正明
（TEL　03-5339-2162）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,767	△37	△37	△40	△1,808.81
今回発表予想(B)	1,924	60	60	30	1,329.10
増減額(B-A)	157	97	97	70	
増減率(%)	8.9	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成22年3月期第2四半期）	1,520	△34	△32	△40	△1,908.43

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績見通しにつきましては、電子ブック作成ソフト『デジタリンクアクティブック』を、iPhone(TM)(アイフォーン)だけでなく、米Apple社の新型タブレット型端末「iPad」へ対応させるなど、同じオーサリングツールでマルチな端末に対応できるようになったことや、リッチコンテンツに対応するなど大幅に機能拡張したことにより、多くのお客様に支持を受け、電子ブックが前年同期比で2.1倍と好調に売上を伸ばしました。

同様に、MFP(デジタル複合機)においては、他部門に跨った社内研修等を実施したことにより社内紹介が増加し、前年同期比2倍と好調に売上を伸ばしました。また特に当社メンテナンスエリアにおいて顧客増加を図ることができたことにより、カウンターサービスも前年同期比1.4倍と好調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間においては、本社増床に伴う移転に係る経費や電子ブックの開発費計上などもあり、営業損失37百万円を予定しておりましたが、売上が好調に推移したことにより黒字となる予定であります。

なお、通期の業績予測につきましては、現在下半期の業績の見通しの精査作業を行っているため、情報が集まり次第、必要に応じて発表する予定であります。

（注記事項）

1)上記の予想数値は、本日発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の決算数値とは異なる可能性があることにご留意下さい。

2)当社は、平成22年8月12日開催の臨時取締役会におきまして、株式の分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更について決議し、平成22年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき200株の割合で株式分割することとしておりますが、平成23 年3月期第2四半期連結累計業績予想数値における1株当たり四半期純利益については、株式分割を考慮しない額を記載しております。

当該株式分割が行われたと仮定した場合の平成23年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値における1株当たり四半期純利益については以下のとおりであります。

第2四半期連結累計期間　6円65銭

3)平成23年3月期第2四半期決算短信は、平成22年11月5日(金)に公表を予定しております。

以 上